



心のビタミン No.192



未来世界を描いた映画「Back to the Future」の舞台となった2015年がやってきた。タブレット型コンピュータや空中に3D映像の投影など、この数十年の革新や進化には驚くばかりである。

そういえば、漫画のドラえもんや鉄腕アトムにも私たちの多くの夢やアイデアが表現されていた。アトムを守り育てたのがお茶の水博士だが、実はモデルとなったとされる方がいたのをご存知だろうか？ 医用工学で人工

心臓を研究した渥美和彦（東京大学名誉教授で、故手塚治氏と高校（当時中学）の同級生だ。「本郷っていうと学校がばれちゃうから、御茶ノ水という名前になった」という。その後、渥美氏が発展させたのが国の統合医療（IM）である。図のように、補完医療とは西洋医学（WM）を補完する医療で、代替医

療とは現代西洋医学に代えて替えられる医療を意味する。CAMの中で最も受容され普及しているものに、音楽療法やアロマセラピーなどが挙げられる。

日本統合医療学会によると、IMは患者中心の医療を推進し疾病予防に努め、健康増進に寄与するとある。先日IMの四国学術大会があり、ヨーガやカイロプラクティックの講義を拝聴した。今後、広がっていくだろう。（医師・音楽家板東浩）

日本統合医療学会によると、IMは患者中心の医療を推進し疾病予防に努め、健康増進に寄与するとある。先日IMの四国学術大会があり、ヨーガやカイロプラクティックの講義を拝聴した。今後、広がっていくだろう。（医師・音楽家板東浩）

